

令和6年度（令和5年度対象）
教育委員会点検・評価

東温市教育委員会

平成 19 年 6 月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表することが規定されました。

この報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくために、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条の規定に基づき、令和 5 年度の教育委員会の点検及び評価を行い、報告するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

1. はじめに	1
2. 点検・評価の対象	1
3. 点検・評価の方法	1
4. 点検・評価結果の構成	2

■点検・評価結果

(保育幼稚園課)

重点目標 1 子育て環境の充実	3
重点目標 2 就学前教育・保育の充実	6

(学校教育課)

重点目標 3 社会総がかりで取り組む教育の推進	8
重点目標 4 安全・安心な教育環境の整備	10
重点目標 5 確かな学力を育てる教育の推進	12
重点目標 6 豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進	15
重点目標 7 特別支援教育の充実	18
重点目標 8 教職員の資質・能力の向上	21

(学校給食センター)

重点目標 9 学校給食の充実と食育の推進	22
----------------------	----

(学校教育課)

重点目標 10 いじめ・不登校等への組織的対応	25
重点目標 11 地域ぐるみで取り組む青少年健全育成活動の推進	28

(生涯学習課・図書館・歴史民俗資料館)

重点目標 12 学び合い高め合う生涯学習の推進	30
重点目標 13 市民の全てが実践する人権教育の推進	31
重点目標 14 読書活動の推進と図書館利用の促進	33
重点目標 15 地域コミュニティの醸成	35
重点目標 16 地域文化の継承・発展と文化財の保存・活用	37
重点目標 17 スポーツ活動の充実・促進	39

■教育委員会活動報告

1 教育委員会組織	41
2 教育委員会の会議等開催状況	41
3 その他の活動	47

1. はじめに

教育委員会では、令和5年度東温市教育基本方針において基本理念を『心豊かに学びあう文化創造のまち「東温」を目指して、保育・幼児教育と学校教育の連携・推進をはじめ、青少年の健全育成、生涯学習の振興、体育・スポーツ活動の充実や地域文化活動の保存・発展を図ることにより、人権意識に根ざした健全で主体的な市民の育成に努める。』と定め、重点目標として、以下の17項目を掲げて取り組みました。

- (1) 子育て環境の充実
- (2) 就学前教育・保育の充実
- (3) 社会総がかりで取り組む教育の推進
- (4) 安全・安心な教育環境の整備
- (5) 確かな学力を育てる教育の推進
- (6) 豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進
- (7) 特別支援教育の充実
- (8) 教職員の資質・能力の向上
- (9) 学校給食の充実と食育の推進
- (10) いじめ・不登校等への組織的対応
- (11) 地域ぐるみで取り組む青少年健全育成活動の推進
- (12) 学び合い高め合う生涯学習の推進
- (13) 市民の全てが実践する人権教育の推進
- (14) 読書活動の推進と図書館利用の促進
- (15) 地域コミュニティの醸成
- (16) 地域文化の継承・発展と文化財の保存・活用
- (17) スポーツ活動の充実・促進

2. 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、上記重点目標を実現するために、令和5年度に取り組んだ重点施策のうち、主な事業について評価を行いました。

3. 点検・評価の方法

- (1) 点検・評価に当たっては、事業の実施状況及び成果を明らかにするとともに自己評価を行いました。
- (2) 点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験等を有する方からご意見、ご助言をいただきました。ご意見等をいただいた方々は次のとおりです。

現東温市PTA連合会会長・社会教育委員副委員長 渡部 康彦
元重信中学校校長 近藤 結香

4. 点検・評価結果の構成

(1) 対象事業

重点施策に基づき実施した主な事業について、事業名と決算額を掲載しています。

(2) 事業の実施状況

点検・評価対象事業の実施状況（概要）を記載しています。

(3) 評価

事業を評価基準に基づき点数評価を行い、自己評価を行っています。

(4) 評価基準

- 5：予想を大きく上回る成果が得られた。
- 4：想定以上に成果が得られた。
- 3：想定どおりの成果が得られた。
- 2：成果は得られたが、改善の必要がある。
- 1：成果は得られず、見直しの必要がある。

(5) 学識経験者意見

教育に関し学識経験等を有する方からいただいたご意見、ご助言を掲載しています。

点検・評価結果

重点目標 1	子育て環境の充実	【保育幼稚園課】
--------	----------	----------

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価						
<p>(1) 子育て短期支援事業・子育て世帯訪問支援事業 (決算額：11千円) (決算額：100千円)</p>	<p>令和5年度から要保護児童や要支援児童のいる世帯等を主な対象として、子育てに係る負担軽減を目的に新たに創設した事業です。</p> <p>「子育て短期支援事業」は、保護者の疾病その他の理由により、家庭において子どもを養育することが一時的に困難になった場合等に、児童養護施設等で一定期間、養育・保護等の支援を行いました。</p> <p>「子育て世帯訪問支援事業」は、家事や育児等に不安を抱える家庭において訪問支援を行い、児童の養育環境を整えました。</p> <p>対象世帯の把握等については、「子育て相談室」が中心となり、要保護児童対策地域協議会内の関係機関と連携を取りながら行いました。</p> <p>[事業実績]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">事業名</th> <th style="text-align: center;">件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">子育て短期支援事業</td> <td style="text-align: center;">1件</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">子育て世帯訪問支援事業</td> <td style="text-align: center;">1件</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	件数	子育て短期支援事業	1件	子育て世帯訪問支援事業	1件	4	<p>本事業の根拠となる、令和4年に改正された児童福祉法の施行日（令和6年4月1日）までに、事業を創設することができました。</p> <p>事業実績はそれぞれ1件ですが、要保護児童や要支援児童等、子育てに悩みや不安を抱える家庭を直接的に支援できる体制が整備できました。</p> <p>今後は、子育て短期支援事業については、新たな入所可能施設との契約、子育て世帯訪問支援事業については、支援員の増員や、研修等による質の向上を図り、事業内容の充実に努めます。</p>
事業名	件数								
子育て短期支援事業	1件								
子育て世帯訪問支援事業	1件								
<p>(2) 若年出産世帯応援事業 (決算額：7,452千円)</p>	<p>人口減少対策は喫緊の課題となっており、特に若い世代が経済的理由で出産を諦めることがないように、育児等に要した経費の一部について助成を行いました。</p> <p>本事業に関するチラシを作成し、ホームページ等に情報を掲載するなど周知を図りました。</p> <p>①対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内に住所(3ヶ月継続)を有し、令和5年4月1日以降に出生した 	4	<p>市内の申請があった若年世帯に助成金の交付ができており、経済的な支援に繋がっています。</p> <p>引き続き本事業の周知に努め、若年世帯が出産に前向きになれるよう、環境整備を進めていきます。</p>						

	<p>児童の父及び母が出生の日において29歳以下である者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童と同居し、主たる生計維持者として養育している者 ・市税を滞納していない者 ・生活保護でない者 ・暴力団員等でない者 ・同種の補助金を受けていない者 <p>②対象品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育児用品 ・時短家電 ・省エネ家電 (省エネラベル2つ星以上) <p>③助成金額 経費相当額 (10/10) 上限額 200,000円</p> <p>④申請期間 生後1年以内</p> <p>⑤実績 38件 (7,450,000円)</p> <p>⑥特定財源 愛媛県の「えひめ人口減少対策総合交付金(1/2)」を活用</p>		
<p>(3) 5歳児相談事業 (決算額: 120千円)</p>	<p>令和5年度から、子どもの発達状況や特性・課題を把握し、支援の必要性を理解しながら就学への不安を軽減することを目的に、5歳の誕生日を迎えた子どもの保護者へ「5歳児アンケート」を送付し、相談希望があった場合は、所属園(所)や子育て支援センターにおいて相談事業を実施しました。</p> <p>その後、支援方法の検討を行い、必要な場合においては、新たに事業化した「育ちの相談」を利用し、専門の相談員との相談を実施しました。</p> <p>①アンケート (回答数)230名/(送付数)258名</p> <p>②相談件数 15件(内8件は「育ちの相談」利用) ※1件は育ちの支援教室「ぱれっと」へ繋がりました。</p>	<p>3</p>	<p>保護者が子どもの育ちを振り返るきっかけになりました。</p> <p>市立保育所・幼稚園等からは「育ちの相談」において専門の相談員と話せる機会があることで、相談を進めやすいという意見がありました。今後も連携して相談できる体制の充実に努めます。</p> <p>一方で、保護者からの希望がない場合は、相談につながらないという課題が生じました。</p>

【学識経験者意見】

改正児童福祉法の施行までに、子育て短期支援事業・子育て世帯訪問支援事業を創設できたことは、たいへん大きな成果と言えます。令和4年度の事業実績は計2件ですが、件数にとらわれることなく、社会福祉課や関係機関とさらに連携を深めて、孤立する母親や保護者のいる世帯を把握し、適切な支援に取り組んでほしいと思います。

5歳児相談事業を開始し、子どもの発達や特性に関する相談の場を設けたことは、保護者の大きな安心につながります。アンケートの回収率も高く、保護者が関心のある事業と考えます。課題となっているように、事業対象の子どもや保護者に行政が関わるのが難しい場合があります。子育て支援ファイル「きらり」の活用と合わせて、引き続き、関係機関での対策の協議をお願いします。

物価上昇に賃金上昇が追いつかない現状の中、若い世代の出産への支援は有難いところであり、市の将来像を描く中で重要なことと考えます。子育ての支援事業と合わせてさらに周知を図るとともに、施策の実施を引き続き期待します。

重点目標 2	就学前教育・保育の充実	【保育幼稚園課】
--------	-------------	----------

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価										
<p>(1) 子どものための教育・保育給付の適正実施 (決算額：338,708千円)</p>	<p>子ども・子育て支援法に基づき、認定こども園、新制度移行幼稚園、保育所等を利用する子どもの教育・保育に要する費用を子どもの保護者の法定代理として施設への給付を行いました。</p> <p>① 対象施設</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>私立保育所</td><td style="text-align: right;">2園</td></tr> <tr><td>公立保育所等（市外）</td><td style="text-align: right;">6園</td></tr> <tr><td>小規模保育事業所等</td><td style="text-align: right;">9園</td></tr> <tr><td>認定こども園</td><td style="text-align: right;">13園</td></tr> <tr><td>私立幼稚園</td><td style="text-align: right;">3園</td></tr> </table> <p>② 給付額 公定価格－利用者負担額</p> <p>③ その他 令和4年度まで実施の保育士等処遇改善臨時特例事業については、本事業の加算項目に追加され、施設を介して、保育士等への処遇改善措置を行いました。</p>	私立保育所	2園	公立保育所等（市外）	6園	小規模保育事業所等	9園	認定こども園	13園	私立幼稚園	3園	3	<p>教育・保育給付については、当該費用を施設へ適正に給付することにより、子育て世帯への支援が図られました。</p> <p>令和4年度まで実施の保育士等処遇改善臨時特例事業において、保育士等への処遇改善を行っていましたが、本事業の加算項目に処遇改善分として追加して給付することで、継続した処遇改善を行うことができました。</p>
私立保育所	2園												
公立保育所等（市外）	6園												
小規模保育事業所等	9園												
認定こども園	13園												
私立幼稚園	3園												
<p>(2) 保育士確保対策事業 (決算額：306千円)</p>	<p>全国的に保育士不足が重要課題となっている中で、市内保育施設の保育士を確保するため、市外から市内の保育施設に就職した保育士に対して引越費用等の助成を行いました。</p> <p>本事業に関するチラシを作成し、関係機関をはじめ、中四国などの大学・専門学校（104校）に周知を図りました。</p> <p>① 対象者 市外から市内の保育施設に就職し、かつ東温市に転入した保育士</p> <p>② 対象経費 引越費用、家賃、生活用品購入費</p> <p>③ 助成金額 経費相当額（10/10）</p>	3	<p>年度途中からの取組となり、実績は1件ではありましたが、チラシ等で広く周知が図られました。</p> <p>引き続き、本事業の周知に努め、保育士を確保し、安定的な保育の提供が行えるよう、環境整備を進めていきます。</p>										

	<p>上限額（県外）250,000 円/人 （県内）100,000 円/人</p> <p>④申請期間 R5. 7. 18～R6. 3. 31</p> <p>⑤実績 1 名（250,000 円）</p> <p>⑥特定財源 愛媛県の「えひめ人口減少対策総合 交付金（1/2）」を活用</p> <p>ほかに市の公式 YouTube に保育士の 仕事について動画をアップし、学生を はじめ若者等へ広くアピールを図りま した。 YouTube を見た学生から試験申込が あり、採用に繋がりました。</p>		
--	---	--	--

【学識経験者意見】

ホームページでの募集や県内外への周知等により、積極的に保育士の人材確保に取り組んでいることがうかがえます。保育士の仕事についての東温市メディア編集部の動画は、とても興味深く視聴できます。動画が学生の採用に繋がったことは喜ばしいことです。

保育士の確保には、就業者の定着支援や離職者の再就職支援も重要で、そのためには継続した処遇改善が不可欠です。保育士が就労しやすく、また、働きながらキャリアアップを図れるような就労環境の整備や研修の機会の確保等の取組をお願いします。

重点目標 3	社会総がかりで取り組む教育の推進	【学校教育課】
--------	------------------	---------

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価																														
(1) 学校評価の効果的な活用と公表 (決算額：— 千円)	<p>学校教育法第 42 条に基づき、学校の教育活動や学校運営について学校関係者が評価を行い、必要な支援、改善等を図り、教育水準を高める必要があるため、全ての幼稚園、小・中学校において学校評価を実施しました。</p> <p>また、学校評価報告会を小・中学校は 2 月 15 日に開催し、各学校の課題と成果について意見交換を行うとともに、評価内容、評価方法等について検討を行いました。</p> <p>なお、評価結果は各学校のホームページで公表しています。</p> <p>〔学校評価実施状況〕</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">学校等名</th> <th style="text-align: center;">実施日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>北吉井小学校</td><td>令和 6 年 2 月 3 日</td></tr> <tr><td>南吉井小学校</td><td>令和 6 年 1 月 12 日</td></tr> <tr><td>拝志小学校</td><td>令和 6 年 2 月 15 日</td></tr> <tr><td>上林小学校</td><td>令和 6 年 1 月 31 日</td></tr> <tr><td>川上小学校</td><td>令和 6 年 2 月 5 日</td></tr> <tr><td>東谷小学校</td><td>令和 6 年 2 月 16 日</td></tr> <tr><td>西谷小学校</td><td>令和 6 年 2 月 4 日</td></tr> <tr><td>重信中学校</td><td>令和 6 年 2 月 15 日</td></tr> <tr><td>川内中学校</td><td>令和 6 年 2 月 2 日</td></tr> <tr><td>重信幼稚園</td><td>令和 6 年 2 月 13 日</td></tr> <tr><td>北吉井幼稚園</td><td>令和 6 年 2 月 27 日</td></tr> <tr><td>川上幼稚園</td><td>令和 6 年 2 月 16 日</td></tr> <tr><td>東谷幼稚園</td><td>令和 6 年 2 月 28 日</td></tr> <tr><td>西谷幼稚園</td><td>令和 6 年 2 月 27 日</td></tr> </tbody> </table>	学校等名	実施日	北吉井小学校	令和 6 年 2 月 3 日	南吉井小学校	令和 6 年 1 月 12 日	拝志小学校	令和 6 年 2 月 15 日	上林小学校	令和 6 年 1 月 31 日	川上小学校	令和 6 年 2 月 5 日	東谷小学校	令和 6 年 2 月 16 日	西谷小学校	令和 6 年 2 月 4 日	重信中学校	令和 6 年 2 月 15 日	川内中学校	令和 6 年 2 月 2 日	重信幼稚園	令和 6 年 2 月 13 日	北吉井幼稚園	令和 6 年 2 月 27 日	川上幼稚園	令和 6 年 2 月 16 日	東谷幼稚園	令和 6 年 2 月 28 日	西谷幼稚園	令和 6 年 2 月 27 日	3	<p>学校評価を確実に行うことで、各幼稚園、小・中学校として、現在、重点的に取り組むべきことは何かという課題を把握し、学校全体として教育活動の充実・改善に取り組み、学校運営についても組織的、継続的な改善を図ることができました。</p> <p>また、学校運営協議会の中に学校関係者評価委員会を位置付けている学校もあり、学校運営の状況や児童生徒等の様子について保護者、地域の代表者等との十分な意見交換を行い、公表することにより、「地域に開かれた学校」「地域と共にある学校」を目指して努力しています。</p> <p>今後も、引き続き評価の結果を保護者や地域住民にホームページや学校便りで広くかつ丁寧に周知し、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の取組を通して、保護者、地域の代表者等の学校運営への参画を得て、学校・家</p>
学校等名	実施日																																
北吉井小学校	令和 6 年 2 月 3 日																																
南吉井小学校	令和 6 年 1 月 12 日																																
拝志小学校	令和 6 年 2 月 15 日																																
上林小学校	令和 6 年 1 月 31 日																																
川上小学校	令和 6 年 2 月 5 日																																
東谷小学校	令和 6 年 2 月 16 日																																
西谷小学校	令和 6 年 2 月 4 日																																
重信中学校	令和 6 年 2 月 15 日																																
川内中学校	令和 6 年 2 月 2 日																																
重信幼稚園	令和 6 年 2 月 13 日																																
北吉井幼稚園	令和 6 年 2 月 27 日																																
川上幼稚園	令和 6 年 2 月 16 日																																
東谷幼稚園	令和 6 年 2 月 28 日																																
西谷幼稚園	令和 6 年 2 月 27 日																																

		庭・地域の連携協力による学校づくりを促進していくことが必要であると考えます。
<p>【学識経験者意見】</p> <p>教育委員会ホームページに「東温コミスク通信」を掲載し、「地域学校協働活動」の周知に積極的です。定期的に発行することで市民の関心が高まると思います。各学校のホームページでも、学校評価とともに「コミスクだより」として学校の取組を情報発信しているところもあります。「地域学校協働活動」のねらいは「学校を核とした地域づくり」にあります。教育委員会と学校のコミスクに関するホームページをリンクさせ、「東温コミスク通信」のサイトから各学校の「コミスクだより」を閲覧できるようになると、更に周知の効果が上がると考えます。</p> <p>中学校部活動地域移行に向けて適切に情報発信し、関係者による検討委員会での協議や、生徒・保護者・教員へのアンケート結果をもとに東温市部活動地域移行推進計画を策定しています。本市の中学校部活動の実態を踏まえた地域移行への取組を行っていることがうかがえます。今後は具体的な準備段階となりますが、中学校で運動面や文化面の活動をしたい生徒の思いを大切にしながら、進めていただきたいと思います。</p>		

重点目標 4	安全・安心な教育環境の整備	【学校教育課】
--------	---------------	---------

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価
(1) 老朽施設等大規模改修事業の推進 (決算額：428,863千円)	<p>学校等施設長寿命化個別計画に基づく改修工事を実施するため、調査業務及び実施設計業務を委託しました。</p> <p>また、屋内運動場照明設備の改修による耐震対策、屋外トイレの改修及び多目的トイレの設置によるトイレ環境の改善、校舎の改修工事による施設の長寿命化を行いました。</p> <p>[令和5年度に実施した事業]</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・南吉井小学校教室棟長寿命化調査 ・東谷小学校屋内運動場長寿命化調査 ・北吉井小学校プール改築工事実施設計 ・南吉井小学校エレベーター設置工事実施設計 ・南吉井小学校屋内運動場長寿命化改修工事実施設計 ・拝志小学校屋内運動場長寿命化改修工事実施設計 ・北吉井小学校教室棟通路改修工事 ・南吉井小学校屋外トイレ大規模改修等工事 ・上林小学校屋内運動場照明設備改修工事 ・川内中学校特別教室棟長寿命化改修工事実施設計 ・重信中学校中校舎長寿命化改修工事(第I期工事) </div>	3	<p>当初予定どおり調査・設計委託業務及び防災機能強化や屋外環境改善等の改修工事が完了しました。</p> <p>学校施設は基本的な教育条件の一つであり、今後も教育水準の維持向上の観点から、児童生徒の安全・安心な教育環境を確保するため、計画的に老朽施設の長寿命化改修等を進めます。</p>

<p>(2) 通学路における 安全教育の推進と 環境整備 (決算額： ー 千円)</p>	<p>児童・生徒の安全を確保するため、小・中学校の通学路において安全点検を実施し、各学校の危険箇所のとりまとめを行い、安全対策が必要な箇所については、箇所ごとに信号機の設置、減速を促す路面標示や横断歩道の移設・修復などの対応を関係機関と連携して行いました。</p> <p>また、継続検討が必要な箇所については、引き続き検討を行うこととしました。</p>	<p>3</p>	<p>通学路安全連絡協議会で実施した通学路における合同点検でリストアップした危険箇所について、学校、警察及び道路管理者等と連携を図り、通学路の現状と課題を認識し対策を講じるなど、安全・安心な登下校の環境整備を進めることができました。</p>
<p>(3) 教職員の防災士 資格取得及び活用 (決算額： 108 千円)</p>	<p>小・中学校の防災力を高める活動を実施するために必要な、十分な意識と一定の知識・技能を修得することを目的として、県主催の防災士養成講座を受講し、9名の教職員が防災士資格を取得しました。</p>	<p>3</p>	<p>防災士資格取得後は、防災士としての知識及び技能を活用した避難訓練等を実施するとともに、仮に災害が発生した場合には、リーダーシップが発揮できるよう防災士の養成ができました。</p>
<p>【学識経験者意見】</p> <p>大規模改修には多額の費用を必要としますが、児童生徒の安心・安全な教育環境の確保は、何よりの優先施策です。改修工事に向けて専門機関に調査業務や設計業務を委託したことで、客観的に学校施設の状況を把握し、安全性の高い改修工事を行うことができたと考えます。今後も計画的な老朽施設の改修をお願いします。</p> <p>学校周辺の危険と思われる場所に注意喚起を促す路面標示ができたり、信号機が設置されたりするなど、通学路の環境整備が進められています。各学校の安全点検や通学路安全連絡協議会の合同点検が、成果を上げていると考えます。危険箇所への対策が目に見える形になるまでには時間がかかると思いますが、児童・生徒の安全確保のため、警察を始めとする関係機関との連携を引き続きよろしくをお願いします。</p>			

重点目標 5	確かな学力を育てる教育の推進	【学校教育課】
--------	----------------	---------

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価
<p>(1) 全国学力・学習状況調査の実施と有効活用 (決算額： — 千円)</p>	<p>全国学力・学習状況調査は小学校6年生及び中学校3年生を対象に実施しました。東温市小・中学校の児童生徒の学力の現状を分析・把握し、校長会で周知するとともに、市のホームページに公開しました。愛媛県学力診断調査は、愛媛県が独自開発したえひめICT学習支援システム（EILS）を活用し1人1台端末を用いて実施しました。また、チャレンジテスト、標準学力検査NRT等の結果をもとに、学力向上推進委員会で今後の学力向上に向けた取組について協議を行い、市独自の「家庭学習の手引き」を発行するなど、確かな学力の定着に努めました。</p>	3	<p>学力向上推進主任を中心に、各校の学力向上推進計画を各調査の結果をもとに、見直しを行い、各校の課題を基に具体的な方策を考え実践することにより、児童生徒の学習意欲や学び方の向上につなげることができました。また、「家庭学習の手引き」も見直しを行い、家庭学習の充実につなげることができました。</p>
<p>(2) 小学校外国語科、外国語活動の指導充実 (決算額： 7,063 千円)</p>	<p>小学校3・4年生の外国語活動及び小学校5・6年生の外国語科において、市内全小学校3・4年生及び5年生の授業に外国語活動支援員を3名、6年生の授業に外国語指導助手（ALT）を2名配置しました。</p> <p>外国語活動及び外国語科の授業を学級担任とともに各クラス年間3・4年生は35時間、5・6年生は70時間行いました。</p>	4	<p>外国語活動支援員及び外国語指導助手を配置することにより、教員の補助や指導力の向上及び外国語活動の充実を図ることができました。</p> <p>外国語活動では、児童が外国語に慣れ親しむことができ、また、外国語科では、言語活動を通じて、コミュニケーション力を養うことができました。</p>

<p>(3) G I G Aスクール構想に伴う積極的な I C T機器の活用 (決算額 : 68, 682 千円)</p>	<p>G I G Aスクール構想により導入した1人1台端末及び校内通信ネットワークを運用するとともに、教職員の活用を支援する I C T支援員を配置しました。</p> <p>構想の推進により授業での利用頻度が高まっており、円滑な授業を実施するため通信機器を更新しました。また、1人1台端末の校内利用範囲を拡大するため無線アクセスポイントを増設しました。</p> <p>さらに、市内小・中学校の特別教室や体育館等に75型大型提示装置（液晶ディスプレイ）を設置しました。</p> <p>〔液晶ディスプレイ設置状況〕</p> <table border="1" data-bbox="576 943 959 1498"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>設置数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北吉井小</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>南吉井小</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>拝志小</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>上林小</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>川上小</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>東谷小</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>西谷小</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>重信中</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>川内中</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	設置数	北吉井小	2	南吉井小	5	拝志小	1	上林小	2	川上小	3	東谷小	1	西谷小	2	重信中	4	川内中	3	計	23	<p>4</p>	<p>G I G Aスクール構想により導入した1人1台端末を活用するための周辺環境を整備しました。日常的に I C T機器に触れる機会が広がったことで、児童生徒の情報活用能力の育成につながっています。</p> <p>今後、G I G Aスクール構想を更に発展させるため、教職員に対し、情報モラルなど I C Tを利用する上での研修機会を提供し、教職員の I C T活用指導力の向上に努めます。</p>
学校名	設置数																								
北吉井小	2																								
南吉井小	5																								
拝志小	1																								
上林小	2																								
川上小	3																								
東谷小	1																								
西谷小	2																								
重信中	4																								
川内中	3																								
計	23																								

【学識経験者意見】

1人1台端末の効果的な活用のために、通信機器の更新や無線アクセスポイントの増設、教員をサポートする I C T支援員の配置等、G I G Aスクール構想推進のもとハード・ソフト両面から学校支援に取り組んでいます。

令和5年度全国学力・学習状況調査結果では、本市の中学生は英語の「聞くこと」に課題があると報告されました。小学校の外国語科・外国語活動の指導に活動支援員や外国語指導助手が配置され、児童は外国語に慣れ親しむことができているようですが、ネイティブ・スピーカーとコミュニケーションをとることができる時数には限りがあります。外国語科と英語科では現在、学習者用デジタル教科書が配付されています。I C Tの活用は日常的に英語に接する機会を生

み出すことができ、タブレット端末を効果的に活用しスピーチや音読、聞き取り練習を行うことで、「聞くこと」を始め、4技能のバランスの良い育成を図ることができると考えます。

「主体的・対話的で深い学び」の充実に資するため、今後も学習者用デジタル教科書の配付が段階的に行われますが、配付に先立ち、他の教科においても指導者が早くデジタル教科書を授業で使用できるような配慮をお願いいたします。

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価																														
(1) 坊っちゃん劇場 アウトリーチ事業 (決算額： 408 千円)	<p>坊っちゃん劇場の俳優が小・中学校へ出向き、学習発表会の表現指導や演技指導を行うなど、各学校のニーズに応じた事業を展開し、プロの俳優から本格的な技術を学ぶ機会を設けました。</p> <table border="1" data-bbox="512 633 1062 1223"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>指導内容</th> <th>回数 (年間)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北吉井小</td> <td>ダンスクラブの指導</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>南吉井小</td> <td>ワークショップ</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>拝志小</td> <td>演技指導</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>上林小</td> <td>演技指導</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>川上小</td> <td>発表会用表現指導</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>東谷小</td> <td>学習発表会演技指導</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>西谷小</td> <td>発表会演技指導</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>重信中</td> <td>演劇部部員演技指導</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>川内中</td> <td>人権劇台本作り、演技指導</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	指導内容	回数 (年間)	北吉井小	ダンスクラブの指導	10	南吉井小	ワークショップ	2	拝志小	演技指導	4	上林小	演技指導	3	川上小	発表会用表現指導	6	東谷小	学習発表会演技指導	3	西谷小	発表会演技指導	2	重信中	演劇部部員演技指導	7	川内中	人権劇台本作り、演技指導	3	3	<p>坊っちゃん劇場との連携により、プロの俳優を小・中学校へ講師として派遣し、芸術文化などに触れる機会の創出によって、子どもたちの想像力や表現力と豊かな感性を育み、情操教育を深めることができました。</p> <p>特に、中学校での演劇部員への演技指導は、人権講座での「人権劇」や文化祭での発表において取り入れられ、毎回好評を得ており、今後の意欲的な活動につなげることができました。</p>
学校名	指導内容	回数 (年間)																															
北吉井小	ダンスクラブの指導	10																															
南吉井小	ワークショップ	2																															
拝志小	演技指導	4																															
上林小	演技指導	3																															
川上小	発表会用表現指導	6																															
東谷小	学習発表会演技指導	3																															
西谷小	発表会演技指導	2																															
重信中	演劇部部員演技指導	7																															
川内中	人権劇台本作り、演技指導	3																															

<p>(2) 特色ある学校づくり事業 (決算額：1,188千円)</p>	<p>小・中学校において、地元住民の指導による体験活動や地元企業での職場体験など、地域の特性を活かした魅力的な体験型ふるさと教育を実施しました。</p> <table border="1" data-bbox="520 450 1051 1420"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>主な活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北吉井小</td> <td>視覚・聴覚・身体に障がいのある方のお話を聞き、共に暮らしやすいまちづくりを考える</td> </tr> <tr> <td>南吉井小</td> <td>地域について調べたり、農業施設を見学したりすることを通して、地域の良さを知る</td> </tr> <tr> <td>拝志小</td> <td>地域の高齢者の方をゲストティーチャーとして、交流を行う</td> </tr> <tr> <td>上林小</td> <td>野菜やサツマイモを植えて収穫したり、調理したりすることで、野菜などの栽培方法や調理方法を学ぶとともに、自然豊かな上林の環境を守っていこうとする気持ちを育てる</td> </tr> <tr> <td>川上小</td> <td>環境問題について調べたことをまとめ、生活に生かす</td> </tr> <tr> <td>東谷小</td> <td>6年間を振り返って心に残る思い出を文集にまとめる</td> </tr> <tr> <td>西谷小</td> <td>学習発表会を通して、自分たちが学習してきたことを地域に発信する</td> </tr> <tr> <td>重信中</td> <td>郷土について調べ学習や体験活動を通して、理解を深め発表する</td> </tr> <tr> <td>川内中</td> <td>職場体験学習に向けてのマナーを身に付ける。キャリア教育で働くことについて学ぶ</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	主な活動内容	北吉井小	視覚・聴覚・身体に障がいのある方のお話を聞き、共に暮らしやすいまちづくりを考える	南吉井小	地域について調べたり、農業施設を見学したりすることを通して、地域の良さを知る	拝志小	地域の高齢者の方をゲストティーチャーとして、交流を行う	上林小	野菜やサツマイモを植えて収穫したり、調理したりすることで、野菜などの栽培方法や調理方法を学ぶとともに、自然豊かな上林の環境を守っていこうとする気持ちを育てる	川上小	環境問題について調べたことをまとめ、生活に生かす	東谷小	6年間を振り返って心に残る思い出を文集にまとめる	西谷小	学習発表会を通して、自分たちが学習してきたことを地域に発信する	重信中	郷土について調べ学習や体験活動を通して、理解を深め発表する	川内中	職場体験学習に向けてのマナーを身に付ける。キャリア教育で働くことについて学ぶ	<p>3</p> <p>各学校が地域を体験学習の場とすることで、地域や学校の特色に応じた様々な体験活動や多くの人との関わり等、教科の枠を超えた探究的な学習を行う事ができています。</p>
学校名	主な活動内容																					
北吉井小	視覚・聴覚・身体に障がいのある方のお話を聞き、共に暮らしやすいまちづくりを考える																					
南吉井小	地域について調べたり、農業施設を見学したりすることを通して、地域の良さを知る																					
拝志小	地域の高齢者の方をゲストティーチャーとして、交流を行う																					
上林小	野菜やサツマイモを植えて収穫したり、調理したりすることで、野菜などの栽培方法や調理方法を学ぶとともに、自然豊かな上林の環境を守っていこうとする気持ちを育てる																					
川上小	環境問題について調べたことをまとめ、生活に生かす																					
東谷小	6年間を振り返って心に残る思い出を文集にまとめる																					
西谷小	学習発表会を通して、自分たちが学習してきたことを地域に発信する																					
重信中	郷土について調べ学習や体験活動を通して、理解を深め発表する																					
川内中	職場体験学習に向けてのマナーを身に付ける。キャリア教育で働くことについて学ぶ																					
<p>(3) 緑の少年隊事業の推進 (決算額：80千円)</p>	<p>上林小学校と西谷小学校の緑の少年隊が、緑とのふれあいや奉仕活動に取り組み、活動を通して郷土愛や、緑の大切さを学ぶとともに、ボランティア精神の向上に努めました。</p> <p>〔上林ささゆり緑の少年隊〕 隊員数 14名（3～6年生） 主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の公園等のボランティア清掃 ・環境ポスターの製作・貼り替え ・サツマイモ栽培、田植え体験など 	<p>4</p> <p>緑の少年団活動の目的である、緑とのふれあいを通して、郷土を愛し、自然に親しむ、心豊かで健全な青少年の育成を行うため、両地域の特性である豊かな緑を生かし、様々な体験活動により、自然環境の保護・保全に必要な知</p>																				

	<p>〔西谷緑の少年隊〕 隊員数 18名（4～6年生） 主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝ボランティア活動 ・自然体験教室（そうめん流し、焼き芋、パン作り） ・稲刈り体験 ・サツマイモ栽培、竹炭焼き など 		<p>識取得に効果のある事業展開ができています。</p> <p>また、清掃活動等においても、学校・保護者・地域が一体となって活動することで、子どもたちの郷土愛と豊かな感受性を育むことができました。</p>
<p>(4) 東温市水泳記録会、陸上記録会の開催 (決算額：1,039千円)</p>	<p>体育・スポーツの振興と児童の体格及び体力の向上を図り、体力づくりに役立てる目的で、陸上記録会、水泳記録会を開催し、大会参加に係る交通費の補助を行いました。</p> <p>〔市水泳記録会〕</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>実施日 令和5年7月21日(金) 場 所 川上小学校 参加者 児童 108人</p> </div> <p>〔市陸上記録会〕</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>実施日 令和5年10月5日(木) 場 所 ニジニスタジアム 参加者 児童 368人</p> </div>	<p>3</p>	<p>水泳記録会や陸上記録会を開催し、記録に挑戦する場を設けることで、児童の競技に取り組む意欲や関心を高め、体格・体力の向上につながっています。</p> <p>また、記録会を通して児童相互の親睦や他校の児童との交流といった効果もあります。</p>
<p>【学識経験者意見】</p> <p>坊っちゃん劇場アウトリーチ事業が学校に定着し、子どもたちもプロの俳優から指導を受ける機会を楽しみにしています。本市の特色を生かした素晴らしい事業だと思えます。</p> <p>「豊かな心や健やかな体」は、体験活動を通して育成されることが多いものです。所属学校での取組はもちろんですが、東温市音楽会や水泳記録会、陸上記録会等で市内の児童・生徒と感動を共有することで、豊かな人間性と社会性や健やかな体を育てることができると考えます。引き続き、体験活動の場と環境の充実をお願いします。</p>			

重点目標 7	特別支援教育の充実	【学校教育課】
--------	-----------	---------

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価																																			
<p>(1) 学校生活支援員の適正な配置 (決算額： 86,790 千円)</p>	<p>学校生活や学習面で配慮を要する児童生徒の支援を行うために、38 人の学校生活支援員を配置しました。</p> <p>〔配置状況〕</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学校名</th> <th colspan="2">配置人数</th> </tr> <tr> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>北吉井小学校</td><td>8人</td><td>8人</td></tr> <tr><td>南吉井小学校</td><td>8人</td><td>7人</td></tr> <tr><td>拝志小学校</td><td>3人</td><td>3人</td></tr> <tr><td>上林小学校</td><td>1人</td><td>1人</td></tr> <tr><td>川上小学校</td><td>6人</td><td>7人</td></tr> <tr><td>東谷小学校</td><td>1人</td><td>1人</td></tr> <tr><td>西谷小学校</td><td>2人</td><td>2人</td></tr> <tr><td>重信中学校</td><td>5人</td><td>6人</td></tr> <tr><td>川内中学校</td><td>3人</td><td>3人</td></tr> <tr><td>計</td><td>37人</td><td>38人</td></tr> </tbody> </table>	学校名	配置人数		令和4年度	令和5年度	北吉井小学校	8人	8人	南吉井小学校	8人	7人	拝志小学校	3人	3人	上林小学校	1人	1人	川上小学校	6人	7人	東谷小学校	1人	1人	西谷小学校	2人	2人	重信中学校	5人	6人	川内中学校	3人	3人	計	37人	38人	4	<p>各校の実情に応じて、児童生徒にきめ細やかな支援ができるよう学校生活支援員の適正な配置を行いました。</p> <p>現在、支援が必要な児童生徒が増加傾向にあります。更に充実した学校生活を送ることができるよう、引き続き特別支援教育・個別生活支援の充実を図ります。</p>
学校名	配置人数																																					
	令和4年度	令和5年度																																				
北吉井小学校	8人	8人																																				
南吉井小学校	8人	7人																																				
拝志小学校	3人	3人																																				
上林小学校	1人	1人																																				
川上小学校	6人	7人																																				
東谷小学校	1人	1人																																				
西谷小学校	2人	2人																																				
重信中学校	5人	6人																																				
川内中学校	3人	3人																																				
計	37人	38人																																				
<p>(2) 特別支援教育研修会・講演会の開催 (決算額： 100 千円)</p>	<p>保育所（園）、幼稚園、小・中学校の教職員に加え、子育て支援・特別支援教育関係者を対象とした研修会や講演会を開催しました。</p> <p>〔開催実績〕</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>研修会・講演会</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>子育て支援研修会</td><td>3回</td><td>184人</td></tr> <tr><td>講演会</td><td>3回</td><td>168人</td></tr> <tr><td>生活支援員研修会</td><td>1回</td><td>51人</td></tr> <tr><td>計</td><td>7回</td><td>403人</td></tr> </tbody> </table>	研修会・講演会	実施回数	参加人数	子育て支援研修会	3回	184人	講演会	3回	168人	生活支援員研修会	1回	51人	計	7回	403人	3	<p>研修会・講演会では、教職員等の資質向上を図るため、教職員が求めている内容を考慮しつつ、支援方法に関する研修会を実施することで、幼児・児童・生徒一人ひとりに応じた、きめ細やかな支援につながりました。</p> <p>また、令和4年度に引き続き、会場での参加が難しい方のためにオンラインによる参加を実施し、より多くの方の参加を得ることができました。</p>																				
研修会・講演会	実施回数	参加人数																																				
子育て支援研修会	3回	184人																																				
講演会	3回	168人																																				
生活支援員研修会	1回	51人																																				
計	7回	403人																																				

<p>(3) 巡回相談・教育 相談事業の充実 (決算額：993千円)</p>	<p>巡回相談員が保育所(園)、幼稚園、小・中学校を訪問し、望ましい指導方法を教職員等と一緒に考えるなど、支援体制の整備及び充実を図りました。</p> <p>〔巡回相談実施状況〕</p> <table border="1" data-bbox="523 450 1013 748"> <thead> <tr> <th>学校等種別</th> <th>実施回数</th> <th>相談人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育所</td> <td>24回</td> <td>65人</td> </tr> <tr> <td>幼稚園</td> <td>16回</td> <td>36人</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>17回</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>5回</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>62回</td> <td>140人</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔教育相談実施状況〕</p> <table border="1" data-bbox="523 792 1013 1090"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施日</th> <th>相談人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>7月26, 27, 28日</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>10月31日 11月1, 2, 6日</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>臨時他</td> <td>3月5日 他</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>62人</td> </tr> </tbody> </table>	学校等種別	実施回数	相談人数	保育所	24回	65人	幼稚園	16回	36人	小学校	17回	33人	中学校	5回	6人	計	62回	140人		実施日	相談人数	第1回	7月26, 27, 28日	32人	第2回	10月31日 11月1, 2, 6日	17人	臨時他	3月5日 他	13人		計	62人	<p>4</p> <p>巡回相談は、専門的な知識を持つ相談員が教育現場を訪問し、教職員等に子どもの理解について、また保育所(園)や幼稚園においては就学後を見据えた支援方法等について、実践的な指導、助言を行うことで、配慮を要する幼児・児童・生徒の適切な支援につながることができました。</p> <p>教育相談は、子どもたちがより安心して学校生活を送れるよう、個に応じた適切な指導、助言を行うことにより、子どもたちのより良い学校生活の形成及び望ましい学びの場の決定につなげるとともに、面談を通して保護者が持つ不安や悩みへの助言ができました。</p> <p>年々、支援を要する児童生徒が増加傾向であり、かつ、多様化していることから、更に教育現場との連携を深めて、適切な教育相談の体制づくりに努めていきます。</p>
学校等種別	実施回数	相談人数																																	
保育所	24回	65人																																	
幼稚園	16回	36人																																	
小学校	17回	33人																																	
中学校	5回	6人																																	
計	62回	140人																																	
	実施日	相談人数																																	
第1回	7月26, 27, 28日	32人																																	
第2回	10月31日 11月1, 2, 6日	17人																																	
臨時他	3月5日 他	13人																																	
	計	62人																																	

【学識経験者意見】

配置された学校によって、生活支援員の子どもへの支援の状況は異なると思いますが、一人一人の障がいや特性に応じた望ましい適切な支援を行うという目的は共通です。支援員対象の研修会は、特別支援教育への理解を深め、支援の目的や在り方について学んでいただく貴重な機会と考えます。支援を必要とする子どもたちに教員と同じ目標に関わることができるよう、回数を重ねていただきたいと思います。

2022年の文部科学省調査に、通常学級に在籍する小・中学生の8.8%が学習や対人関係で困難を抱えているとの報告があります。教室内の座席の配置や本人の習熟度に応じた課題など、授業での個別の配慮や支援が必要です。特別支援教育の知識をもつことは、すべての教員にとって有益であり、子どもたちの成長をサポートするための視点となります。引き続き、市での研修会を充実させるとともに、学校全体でインクルーシブ教育を進めてほしいと考えます。

重点目標 8	教職員の資質・能力の向上	【学校教育課】
--------	--------------	---------

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価						
(1) 校務支援システム、グループウェアの活用 (決算額：49,160千円)	校務支援システム及びグループウェアを円滑に運用することにより、教職員の業務負担軽減を図りました。 また、老朽化した学校サーバを更新するとともに、令和6年度に新設する子ども療育センター思春期病棟へ教職員が配置されるため、校務用端末を増設しました。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">校務支援システム</td> <td>児童生徒名簿情報、出欠席情報、成績情報等を電子化</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">グループウェア</td> <td>行事予定、掲示板、メッセージ、機能等を持った学校グループウェア</td> </tr> </tbody> </table>	項目	内容	校務支援システム	児童生徒名簿情報、出欠席情報、成績情報等を電子化	グループウェア	行事予定、掲示板、メッセージ、機能等を持った学校グループウェア	3	校務支援システムの運用により、成績情報の管理など、様々な業務において教職員の負担軽減と業務量の削減につながることができました。 また、グループウェアの運用についても、学校間及び学校と教育委員会間の情報交換が容易になり、教師の負担軽減を図ることができました。 これらのシステムを活用して事務の効率化を図ることにより、教職員の働き方改革を推進し、自己研鑽や研修等に取り組むなど、教職員の資質・能力の向上につながっているものと考えます。
項目	内容								
校務支援システム	児童生徒名簿情報、出欠席情報、成績情報等を電子化								
グループウェア	行事予定、掲示板、メッセージ、機能等を持った学校グループウェア								

【学識経験者意見】

令和4年8月に「公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指針」が改正され、教師に共通的に求められる資質能力が、教職に必要な素養、学習指導、生徒指導、特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応、ICTや情報・教育データの利活用の5つの柱で再整理されました。校務支援システムやグループウェアの円滑な運用により、教師がゆとりをもって、自身のスキルアップに向けて自己研鑽や研修に励むことができると思います。

学校においては、教員が子どもと向き合える時間を確保するとともに、効果的・効率的な校内研修に取り組む必要があります。大量退職期を迎え、今後10年以内に教職員の半数が入れ替わる中、経験豊かなベテラン教職員の高い識見や優れたノウハウ等を若手教職員や中堅教職員に伝え、教育活動をさらに充実・発展させていくための研修体制を市内の学校全体でつくってほしいと考えます。

重点目標 9	学校給食の充実と食育の推進	【学校給食センター】
--------	---------------	------------

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価
<p>(1) 特色ある給食の提供と食育の推進 (決算額： 81 千円)</p>	<p>「ふれあいスクールランチコンテスト' 23 IN 東温」(第6回目)を開催しました。13組の応募があり、6組が調理審査に参加しました。コンテスト入賞メニュー(9品目)は栄養教諭が学校給食用にアレンジし、2学期以降の給食に取り入れました。</p> <p>地場産物を活用したメニューや成長期の子どもたちに必要な栄養をとるための新メニューの開発を行ったり、全国各地の郷土料理や行事食のほか、愛媛FC・FCレディースとのコラボメニューを取り入れたりするなど、学校給食の充実を図りました。</p> <p>年11回発行の給食だよりで、市内生産者の紹介や農作物の生長の様子を掲載するなど、地産地消の推進に取り組みました。</p> <p>給食放送等では、行事食の意義、地産地消の推進、市内農産物を紹介したほか、愛媛FCコラボメニューの日には、選手からのメッセージDVD映像を配信しました。</p> <p>食を選択できる力を身に付けることを目的に、7月、12月にはセレクト給食を実施しました。</p> <p>3月には小学校6年生、中学校3年生から思い出に残る献立を募集して提供する「リクエスト給食」を実施しました。</p> <p>東温市環のまちづくりによるJ-VER売却益を活用し、東温市産紅ほっぺを子どもたちに給食で提供しました。</p>	3	<p>ふれあいスクールランチコンテストは、6回目の開催となり、子どもたちの食への関心を高めることができました。</p> <p>郷土料理や行事食、世界の料理を献立に取り入れることで、多様な食文化を伝えることができました。</p> <p>愛媛FC・FCレディースとのコラボメニューを実施することで、子どもたちが食と健康について考えるきっかけとすることができました。</p> <p>また、J-VER売却益の活用は東温市産紅ほっぺの給食への提供の一助となりました。</p> <p>今後も地域・家庭・学校・行政等と連携し、給食の食事内容の充実と食育の推進に努めます。</p>

<p>(2) 地元企業と連携した地産地消の推進と農業振興 (決算額： — 千円)</p>	<p>さくら市場給食部会との連携や、重信更生園等の生産者・出荷者への働きかけにより、給食への地場産物活用促進を図りました。また東温市産食材（ブロッコリー、にんじん、さといも、かぼちゃ、さつまいも、ビーツ等）を冷凍加工や高温高圧加工することで、通年で使用できる食材を増やすことができました。</p> <p>年3回（各1週間）の地産地消推進の期間には、東温市産農産物を積極的に活用し、地場産物活用率は平成22年度以降県下1位を維持しています。</p> <p>〔地場産物活用状況〕 (令和5年度県内産使用率の県平均53.5%)</p> <table border="1" data-bbox="523 922 1018 1070"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県内産</td> <td>99.8%</td> <td>99.7%</td> </tr> <tr> <td>(東温市産)</td> <td>(63.9%)</td> <td>(66.6%)</td> </tr> </tbody> </table>		令和4年度	令和5年度	県内産	99.8%	99.7%	(東温市産)	(63.9%)	(66.6%)	<p>4</p>	<p>さくら市場給食部会員は高齢化が進み、会員数の減少が懸念されますが、近年若い農業者の参画も増え、出荷品目、量ともに増えてつあります。</p> <p>また、加工業者との連携により、東温市産農産物の活用を更に進めることができました。</p> <p>今後も地産地消を更に推進するべく、東温市産食材の安定的な調達方法を検討します。</p>												
	令和4年度	令和5年度																						
県内産	99.8%	99.7%																						
(東温市産)	(63.9%)	(66.6%)																						
<p>(3) アレルギー食対応事業の推進 (決算額： — 千円)</p>	<p>令和4年度より取り組みを始めたアレルギー食対応については、引き続き専任の栄養士を置き、除去食及び代替食を提供しました。</p> <p>対応するアレルギー食品の品目は順次拡大することとして、令和5年度は対象者の多い「乳」「卵」「種実類」に「えび・かに」を新たに加え、除去食、代替食を提供しました。</p> <table border="1" data-bbox="539 1601 997 1948"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>対象者</th> <th>提供食数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乳製品</td> <td>3名</td> <td>58食</td> </tr> <tr> <td>卵</td> <td>13名</td> <td>244食</td> </tr> <tr> <td>乳卵</td> <td>16名</td> <td>83食</td> </tr> <tr> <td>種実類</td> <td>17名</td> <td>535食</td> </tr> <tr> <td>えび・かに</td> <td>11名</td> <td>33食</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>60名</td> <td>953食</td> </tr> </tbody> </table> <p>(R5.4月～R6.3月)</p>	品目	対象者	提供食数	乳製品	3名	58食	卵	13名	244食	乳卵	16名	83食	種実類	17名	535食	えび・かに	11名	33食	合計	60名	953食	<p>4</p>	<p>従来から実施している、牛乳の除去や代替緑茶の提供、パンの除去やご飯の代替などに加えて、令和4年度からは乳・卵・種実等のアレルギーを持つ児童生徒等に対して除去食等の提供を行っており、令和5年度は新たに「えび・かに」を対象品目に加えました。</p> <p>今後も食物アレルギーの実態に即して対応品目の拡充に努めます。</p>
品目	対象者	提供食数																						
乳製品	3名	58食																						
卵	13名	244食																						
乳卵	16名	83食																						
種実類	17名	535食																						
えび・かに	11名	33食																						
合計	60名	953食																						

【学識経験者意見】

地産地消の促進と工夫した給食の取り組みがされていて、子どもたちも給食を楽しみにしていると思います。地元企業や生産者、出荷者と連携し、今後もより良い給食の献立を考えていただきたいです。また、アレルギーを持つ子どもは増えていると思います。アレルギー反応による事故が起きないように、きめ細やかな対応が必要です。

子どもたちにとって、食べることは、学ぶことと同様に重要なことです。今後も試行錯誤しながらも、更なる向上を期待いたします。

重点目標 10	いじめ・不登校等への組織的対応	【学校教育課】
---------	-----------------	---------

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価																		
(1) 東温市いじめ防止基本方針を踏まえたいじめ防止対策の推進 (決算額： — 千円)	<p>「東温市いじめ防止等のための基本方針」に基づき、関係者が連携を図りながら、いじめの未然防止、早期発見、早期解決のための取組を総合的かつ効果的に推進しました。</p> <p>[不登校・いじめ認知の推移]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>不登校児童生徒数</th> <th>いじめ認知件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>32人</td> <td>66件</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>42人</td> <td>52件</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>60人</td> <td>40件</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>77人</td> <td>87件</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>116人</td> <td>99件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※不登校児童生徒数については、年間30日以上欠席者</p>	年 度	不登校児童生徒数	いじめ認知件数	令和元年度	32人	66件	令和2年度	42人	52件	令和3年度	60人	40件	令和4年度	77人	87件	令和5年度	116人	99件	3	<p>いじめを絶対に「許さない」「見逃さない」という共通認識のもと、アンケートにより得た情報を全教職員で共有しながら、児童生徒の様子を細やかに観察し、適切な指導に努めました。引き続き、アンケートなどで積極的に認知し、早期発見・解決に努めます。不登校については、状況に応じて、関係機関と連携しながら対応していき、登校したいと思う魅力ある学校となるよう取り組みます。</p>
年 度	不登校児童生徒数	いじめ認知件数																			
令和元年度	32人	66件																			
令和2年度	42人	52件																			
令和3年度	60人	40件																			
令和4年度	77人	87件																			
令和5年度	116人	99件																			
(2) ハートなんでも相談員の配置及び活用 (決算額： 7,029千円)	<p>南吉井小学校、川上小学校、川内中学校にそれぞれ1名、北吉井小学校、重信中学校にそれぞれ2名を配置し、いじめ・不登校などの悩みを抱える児童生徒の支援に取り組みました。未配置校への対応として、スクール・ソーシャル・ワーカーが各学校を訪問し、児童生徒、保護者及び教職員への相談活動を実施しました。</p> <p>[相談件数]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北吉井小学校</td> <td>2,104件</td> <td>1,256件</td> </tr> <tr> <td>南吉井小学校</td> <td>341件</td> <td>472件</td> </tr> <tr> <td>川上小学校</td> <td>121件</td> <td>296件</td> </tr> <tr> <td>重信中学校</td> <td>2,442件</td> <td>4,176件</td> </tr> <tr> <td>川内中学校</td> <td>1,551件</td> <td>1,315件</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	令和4年度	令和5年度	北吉井小学校	2,104件	1,256件	南吉井小学校	341件	472件	川上小学校	121件	296件	重信中学校	2,442件	4,176件	川内中学校	1,551件	1,315件	3	<p>いじめや不登校などの悩みを抱えていたり、教室に行きづらい傾向にある児童生徒や保護者・教職員への対応として、きめ細かい相談活動を行うことにより、状況改善につながることができました。</p> <p>引き続き、児童生徒・保護者・教職員の悩みや相談について丁寧かつ、適切な対応に努めます。</p>
学校名	令和4年度	令和5年度																			
北吉井小学校	2,104件	1,256件																			
南吉井小学校	341件	472件																			
川上小学校	121件	296件																			
重信中学校	2,442件	4,176件																			
川内中学校	1,551件	1,315件																			

<p>(3) 適応指導教室の設置及び活用 (決算額：6,735千円)</p>	<p>心理的要因等により登校できない状態又は不登校傾向にある児童生徒に対し、支援を行いました。児童生徒や保護者からの相談について、各関係機関との連携・調整を行いながら対応をしました。</p> <p>〔利用状況〕</p> <table border="1" data-bbox="520 551 1016 797"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学生</th> <th>中学生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談</td> <td>2人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>体験</td> <td>6人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>入室</td> <td>6人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>14人</td> <td>17人</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔相談実績〕</p> <table border="1" data-bbox="520 846 866 996"> <tbody> <tr> <td>小学生</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>16件</td> </tr> </tbody> </table>		小学生	中学生	相談	2人	4人	体験	6人	9人	入室	6人	4人	合計	14人	17人	小学生	5件	中学生	11件	合計	16件	<p>3</p>	<p>児童生徒にとって、適応指導教室が学校と家庭以外の新しい居場所となり、情緒の安定や集団生活への適応に向けた支援を行うことができました。</p> <p>また、児童生徒本人参加型のケース会を通じて、本人の気持ちが所属校の先生に伝わり、安心できる登校につなげることができました。</p> <p>引き続き、関係機関と連携を取りながら、児童生徒が安心して過ごせるよう、心理面のサポートを行うとともに、学校復帰が実現できるように支援に努めます。</p>
	小学生	中学生																						
相談	2人	4人																						
体験	6人	9人																						
入室	6人	4人																						
合計	14人	17人																						
小学生	5件																							
中学生	11件																							
合計	16件																							
<p>(4) 魅力ある学校づくり調査研究事業による不登校対策の推進 (決算額：—千円)</p>	<p>「国立教育政策研究所」が令和4年度まで取り組んでいた事業で、引き続き、定期的に児童生徒の実態を把握する意識調査を実施しました。その結果を基に、課題・目標の設定、実践、点検、課題・目標の見直しのPDCAサイクルを繰り返し行う取組により、「授業づくり」や「集団づくり」を通して不登校の未然防止に努めました。</p>	<p>3</p>	<p>新規不登校児童生徒数の減少には直結していませんでしたが、継続して本事業に取り組み、小・中学校が連携を図ることにより不登校児童生徒の未然防止に努めていきます。</p>																					

【学識経験者意見】

「東温市いじめ防止等のための基本方針」に基づき、市全体で、いじめの未然防止、早期発見、早期解決に向けた取組が見られます。アンケートから得た情報を学校は全教職員で共有しながら、子どもの観察や支援に生かし、いじめの早期発見と解決に努めています。また、ハートなんでも相談員やスクールソーシャルワーカーへの相談内容を関係者が適切に共有し、いじめや不登校等の状況改善につなげています。

不登校児童生徒の増加が憂慮される中、適応指導教室が不登校児童生徒と学校をつなぐパイプとして機能的に運用されており、これからますます果たす役割が期待されるところです。個人情報保護の問題もありますが、不登校の子どもや保護者が学校や行政機関からの関わりや支援が途切れて孤立してしまうことのないよう、引き続き、関係機関との連携を深めた対応をお願いします。

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価																								
<p>(1) 補導活動の充実と有害環境対策の推進 (決算額：668千円)</p>	<p>市が委嘱した64名の地域推薦や小・中学校の生徒指導主事等で構成する補導委員により、年間を通して街頭補導活動や不良図書回収などの環境浄化活動を実施しました。また、規則を改正し、補導員の公募等を追加して補導委員の不足対策を行うほか、各校区の少年健全育成推進協議会等関係団体と連携を図り、情報交換を行いました。</p> <p>〔補導活動の状況〕</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 40%;">令和4年度</th> <th style="width: 40%;">令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間補導回数</td> <td style="text-align: center;">32回</td> <td style="text-align: center;">32回</td> </tr> <tr> <td>延べ活動人数</td> <td style="text-align: center;">242人</td> <td style="text-align: center;">284人</td> </tr> <tr> <td>不良図書等回収</td> <td style="text-align: center;">376冊</td> <td style="text-align: center;">347冊</td> </tr> <tr> <td>内訳(不良図書)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(一般図書)</td> <td style="text-align: center;">126冊</td> <td style="text-align: center;">123冊</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(ビデオ・DVD)</td> <td style="text-align: center;">116本</td> <td style="text-align: center;">128本</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(その他)</td> <td style="text-align: center;">0部</td> <td style="text-align: center;">0部</td> </tr> </tbody> </table>		令和4年度	令和5年度	年間補導回数	32回	32回	延べ活動人数	242人	284人	不良図書等回収	376冊	347冊	内訳(不良図書)			(一般図書)	126冊	123冊	(ビデオ・DVD)	116本	128本	(その他)	0部	0部	3	<p>地域推薦や小・中学校の生徒指導主事等で構成する補導委員が定期的に青色防犯パトロールカーによる見せる補導活動を行うことにより、喫煙、飲酒、深夜はいかい等の不良行為の防止につながっています。</p> <p>また、少年健全育成推進協議会等と連携し、意見交換や情報共有を行いながら非行防止等に取り組むことで、青少年の健全育成を推進します。</p>
	令和4年度	令和5年度																									
年間補導回数	32回	32回																									
延べ活動人数	242人	284人																									
不良図書等回収	376冊	347冊																									
内訳(不良図書)																											
(一般図書)	126冊	123冊																									
(ビデオ・DVD)	116本	128本																									
(その他)	0部	0部																									
<p>(2) 教育相談活動の充実 (決算額：2,658千円)</p>	<p>中央公民館に1名の教育相談員を配置し、いじめ、不登校、非行及び交友関係等に関する相談を受け、内容に応じて関係機関と連携を図り、適切な対応に努めました。</p> <p>〔相談件数〕</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 40%;">令和4年度</th> <th style="width: 40%;">令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来所相談</td> <td style="text-align: center;">4件</td> <td style="text-align: center;">4件</td> </tr> <tr> <td>電話相談</td> <td style="text-align: center;">26件</td> <td style="text-align: center;">19件</td> </tr> <tr> <td>訪問相談</td> <td style="text-align: center;">6件</td> <td style="text-align: center;">6件</td> </tr> <tr> <td>メール相談</td> <td style="text-align: center;">0件</td> <td style="text-align: center;">2件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: center;">36件</td> <td style="text-align: center;">31件</td> </tr> </tbody> </table>		令和4年度	令和5年度	来所相談	4件	4件	電話相談	26件	19件	訪問相談	6件	6件	メール相談	0件	2件	計	36件	31件	3	<p>いじめや不登校などの悩みを抱えている児童生徒、保護者の相談に乗ることで、不安をやわらげ、望ましい在り方を助言することができました。</p> <p>また、教育相談室の周知と併せて児童生徒等が相談しやすい環境づくりに取り組みます。</p>						
	令和4年度	令和5年度																									
来所相談	4件	4件																									
電話相談	26件	19件																									
訪問相談	6件	6件																									
メール相談	0件	2件																									
計	36件	31件																									

【学識経験者意見】

補導委員の皆さんの防犯パトロールのおかげで、喫煙、深夜徘徊などの不良行為の防止につながっています。子どもたちの健全育成のため、根気強い補導活動をよろしく願いいたします。

また、教育相談室の周知が、各学校のホームページに明記されているので相談しやすい環境が整ってきたと思います。

重点目標 12	学び合い高め合う生涯学習の推進	【生涯学習課】
---------	-----------------	---------

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価						
(1) 各種講座開催事業 (決算額： 172 千円)	<p>高齢者を対象に高齢化社会に適應するための知識や技能を学習する機会を提供するため、「東温カレッジ」「地区婦人学級」を実施しました。</p> <p>〔東温カレッジ〕 開講数 7講座 内容 教養講座、スポーツ講座、健康体操 趣味講座など</p> <p>〔地区婦人学級〕 学級数 8学級 内容 環境に配慮した活動 ぼかし作り、地区の花壇整備など</p>	3	<p>概ね50歳以上を対象に、現代社会において必要な技能等を学習する機会として東温カレッジを実施しました。</p> <p>市と協定締結している企業から講師を招き、今まで実施してきた事業に加え、新たな試みも実施しました。</p> <p>地区婦人学級はより身近なものとして捉えられるよう、婦人会の各支部に委託し実施しました。</p>						
(2) 公民館施設の整備、充実 (決算額： 32,914 千円)	<p>中央公民館及び川内公民館の適切な維持管理に努めることで、市民の仲間づくりや生涯学習団体等の活動のための場所を提供するとともに各種情報を積極的に発信し、生涯学習の魅力ある拠点づくりの推進を行いました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">公民館名</th> <th style="width: 50%;">利用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">中央公民館</td> <td style="text-align: center;">延べ 31,307 人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">川内公民館</td> <td style="text-align: center;">延べ 17,259 人</td> </tr> </tbody> </table>	公民館名	利用人数	中央公民館	延べ 31,307 人	川内公民館	延べ 17,259 人	3	<p>各公民館とも定期的な調査を行い、修理等が必要な箇所については適時対応しました。またバリアフリー対応として川内公民館エントランス階段に手摺を設置しました。</p>
公民館名	利用人数								
中央公民館	延べ 31,307 人								
川内公民館	延べ 17,259 人								
<p>【学識経験者意見】</p> <p>東温カレッジや地区婦人学級は、各講座も充実しています。そして、高齢者の交流や学びに欠かせないものとなっています。引き続き充実した講座の開催をお願いいたします。</p> <p>また、各公民館の施設の修理も対応していただき、感謝いたします。引き続き、定期的な点検、補修をお願いいたします。</p>									

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価
<p>(1) 研修会等の開催実施 (決算額：2,318千円内、人権教育協議会補助金2,286千円) ※含む(2)事業</p>	<p>① 人権ゼミナール 年2回の人権ゼミナールを開催しました。第1回は中央公民館、第2回は川内公民館で開催しました。</p> <p>〔第1回〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年6月21日(水) ・演題 「令和時代のハラスメント」 ・講師 鈴木 正幸 ・参加者数 136人 <p>〔第2回〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年9月15日(金) ・演題 「少子化社会を生き抜く地域づくり」 ・講師 越智 やよい ・参加者数 66人 <p>② 人権講座 中央公民館で教職員研修も併せて実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年8月18日(金) ・演題 「繋がるペダルで心のバリアフリー社会の実現を」 ・講師 津賀 薫 ・参加者数 262人 <p>③ 人権を語る集い 市民等並びに関係機関・各種団体の参加のもと、中央公民館で開催し、併せて市内児童・生徒による人権啓発作品ロビー展を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年12月3日(日) ・演題 	3	<p>当初の予定どおりに事業実施することができました。研修会では、実際に差別の現実を学習することで、参加者の理解を深めることができました。</p> <p>また、水平社創立の思想を学ぶことで同和問題に対する歴史も学ぶことができました。</p> <p>今後も、様々な人権問題の解決に向けた研修会を実施することで、人権尊重のまちづくりをより一層、推進します。</p>

	<p>「人の世に熱と光を ～水平社創立の思想に学ぶ～」</p> <p>・講師 駒井 忠之 ・参加者数 117人</p>		
(2) 人権啓発活動の 充実	<p>障がいに対する人権意識の啓発を図るため、「障がいのある人と人権」をテーマとしたリーフレットを4,000部作成しました。</p> <p>自身の悪意のない言動が人権侵害につながることを理解し、より高い人権意識を持ってもらえるよう、市内小・中学校の児童生徒及び各種団体、施設等に広く配布しました。</p> <p>また、事業所等における人権・同和教育の推進のため、人権擁護委員と連携して市内5企業への訪問を実施しました。</p>	3	<p>企業訪問では、実際に現場に出向くことで、職場内の人権問題や企業の社会的責任等についてより具体的な意見交換を行いました。</p> <p>より多くの企業に訪問し人権意識を高めるためには、同和問題はもちろん、感染症やLGBTQ+などの新たな人権問題をテーマとし、幅広い広報啓発活動を根気強く継続することが不可欠です。</p> <p>今後も粘り強く市民並びに市内事業者等への人権啓発活動に取り組みます。</p>
<p>【学識経験者意見】</p> <p>人権啓発活動は、すぐに結果が出ない難しい活動ですが、継続していくことが重要と感じます。市民が人権に関し真剣に考える場、人権ゼミナールの内容も工夫されていると思います。多様化社会の中、引き続き人権啓発活動をしていただきたいと思います。</p>			

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価												
<p>(1) 市立図書館資料の充実とサービスの向上 (決算額：46,854千円)</p>	<p>来館者数 93,377 人の内、貸出者数は 61,112 人（前年 60,809 人）で、303 人増加し、貸出冊数は 182,265 冊（前年 183,016 冊）で 751 冊減少となりました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">年 度</th> <th style="text-align: center;">貸出者数</th> <th style="text-align: center;">貸出冊数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">令和3年度</td> <td style="text-align: center;">48,532 人</td> <td style="text-align: center;">144,677 冊</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和4年度</td> <td style="text-align: center;">60,809 人</td> <td style="text-align: center;">183,016 冊</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和5年度</td> <td style="text-align: center;">57,367 人</td> <td style="text-align: center;">171,328 冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>蛍光灯照明設備の老朽化が進み、長寿命で節電効果が期待できる LED 照明へと改修工事を実施しました。</p> <p>また、学校図書館との連携で、図書館支援員を 1 校あたり年間 3 回派遣し、学校図書館の整備支援や授業・委員会支援などを行いました。</p> <p>主な各種講座やイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天文講座 ・リサイクル市 ・ハロウィンイベント ・はじめての絵本講座 	年 度	貸出者数	貸出冊数	令和3年度	48,532 人	144,677 冊	令和4年度	60,809 人	183,016 冊	令和5年度	57,367 人	171,328 冊	3	<p>電気代の高騰や蛍光灯器具の生産終了などから、長寿命で節電効果も期待できる LED 照明への交換工事を行い、利用者が閲覧・観覧しやすい環境を整備しました。</p> <p>また、イベントにおいては、新しい企画であるハロウィンイベントを実施するなど、来館者の増加を図りました。</p> <p>今後も継続して、利用者ニーズの高いベストセラーや新刊図書を定期的に購入するとともに、近隣図書館からの資料借受を行い、利用者への資料提供サービスを実施していきます。</p>
年 度	貸出者数	貸出冊数													
令和3年度	48,532 人	144,677 冊													
令和4年度	60,809 人	183,016 冊													
令和5年度	57,367 人	171,328 冊													
<p>(2) 移動図書館車の活用 (決算額：401千円)</p>	<p>市内 76 箇所の訪問ステーション（一般地区 66 箇所、小学校・幼稚園 10 箇所）を月 2 回巡回し、図書の貸出等を行いました。</p> <p>利用率を上げることを目的にアンケート調査を実施し、運行ルートの見直しを行いました。結果、新規巡回場所 1、廃止巡回場所 1、巡回時間の調整を行いました。</p>	3	<p>「だれでも」身近な場所で図書館サービスが利用できる移動図書館車は今後も重要であると考えます。</p> <p>ただし、車載できる資料数に制限があるため、ニーズに沿った図</p>												

年間巡回日数は291日で前年と同様となっております。

なお、貸出者数は3,745人で、395人減少し、貸出冊数も10,934冊と1,817冊減少しました。

年 度	貸出者数	貸出冊数
令和 3年度	3,716人	11,611冊
	一日平均15人	一日平均47冊
令和 4年度	4,140人	12,751冊
	一日平均14人	一日平均44冊
令和 5年度	3,745人	10,934冊
	一日平均13人	一日平均44冊

書の積み替え等を行うなどのきめ細やかな工夫が必要です。

今回、運行ルートの見直しを行いました。が、今後も、地域住民の多様化するニーズに応えるため、適宜サービス内容を検討していきます。

【学識経験者意見】

インターネットの普及により、活字離れが進み、読書をする人が減少しています。利用スペースやレイアウトの変更、貸出図書の補充をしていただきたいと思います。

また、移動図書館車については、訪問ルートや貸出図書の種類に関する要望アンケートを実施するなど、見直しの検討をしていただきたいと思います。

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価																
<p>(1) 学校・家庭・地域連携推進事業 (決算額：4,741千円) ※含む(2)事業</p>	<p>次代を担う青少年の豊かな心と生きる力を育み、心身ともに逞しい人間として成長していくことができるよう、体験学習を中心とした放課後子ども教室及び土曜教育活動を実施しました。</p> <p>〔放課後子ども教室〕</p> <table border="1" data-bbox="515 696 1011 1039"> <thead> <tr> <th>実施場所</th> <th>開催内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北吉井小 26回実施 (3教室に分けて実施)</td> <td>体を動かす(体操等) ものづくり(工作等)</td> </tr> <tr> <td>川上小 15回実施 (2教室に分けて実施)</td> <td>実験(ペットボトルロケット等)</td> </tr> <tr> <td>拝志小 16回実施 (児童クラブと連携実施)</td> <td>プロスポーツ選手との交流</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔土曜教育活動〕</p> <table border="1" data-bbox="515 1088 1011 1458"> <thead> <tr> <th>講座名</th> <th>対象等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重信わんぱく広場</td> <td>重信地区の小学4~6年生対象、年10回開催</td> </tr> <tr> <td>川内わんぱく広場</td> <td>川内地区の小学4~6年生対象、年10回開催</td> </tr> <tr> <td>ジュニア体験塾</td> <td>市内中学生対象、年10回開催</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔地域未来塾〕</p> <p>地域未来塾は川内中学校生徒を対象とし令和5年度からの新規事業となります。地域の教員OBや大学生の協力を得て、学習習慣の確立と基礎学力の定着を図るものです。年46回の開催でのべ240人の参加がありました。</p> <p>〔地域学校協働活動〕</p>	実施場所	開催内容	北吉井小 26回実施 (3教室に分けて実施)	体を動かす(体操等) ものづくり(工作等)	川上小 15回実施 (2教室に分けて実施)	実験(ペットボトルロケット等)	拝志小 16回実施 (児童クラブと連携実施)	プロスポーツ選手との交流	講座名	対象等	重信わんぱく広場	重信地区の小学4~6年生対象、年10回開催	川内わんぱく広場	川内地区の小学4~6年生対象、年10回開催	ジュニア体験塾	市内中学生対象、年10回開催	3	<p>放課後子ども教室は従来実施していた北吉井小・川上小に拝志小を加えることで、拡大して実施することができました。</p> <p>市の単独事業として実施してきた中学生向け講座「ジュニア体験塾」を土曜教育活動に取り込むことで小学生向け、中学生向けの講座を、学校・家庭・地域連携推進事業として実施することができました。</p> <p>多様な体験学習ができる機会を多くの児童・生徒に提供することができました。</p> <p>今後も、地域と学校の連携強化に努めながら、子どもたちの健全育成を全面的に支援していきます。</p>
実施場所	開催内容																		
北吉井小 26回実施 (3教室に分けて実施)	体を動かす(体操等) ものづくり(工作等)																		
川上小 15回実施 (2教室に分けて実施)	実験(ペットボトルロケット等)																		
拝志小 16回実施 (児童クラブと連携実施)	プロスポーツ選手との交流																		
講座名	対象等																		
重信わんぱく広場	重信地区の小学4~6年生対象、年10回開催																		
川内わんぱく広場	川内地区の小学4~6年生対象、年10回開催																		
ジュニア体験塾	市内中学生対象、年10回開催																		

	<p>地域学校協働活動は、幅広い地域住民等の参画を得ながら地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指すための活動で、令和3年度からは市内の全小・中学校において実施してきました。令和5年度は学校主導で実施してきた職場体験学習を地域学校協働活動として捉え直すことで、東温市の事業所と連携した職場体験学習を実施しました。</p>		
<p>(2) 地域が持つ人的資源の活用</p>	<p>令和2年度から運用開始となった協働活動サポーター制度ですが、令和5年度末時点で130人の登録となりました。</p> <p>地域学校協働活動や土曜教育活動、放課後子ども教室などの様々な事業への協力を主な活動とすることで、地域と学校が一体となって子どもたちの学びや成長を支えました。</p>	<p>3</p>	<p>協働活動サポーターには、毎年多くの方に登録いただいています。学校の授業補助や読み聞かせなどに参加することも多くなっており、地域の人的資源の活用が出来ていると考えています。</p> <p>引き続き、地域が持つ人的資源を発掘しながら、登録者数の増加を図るべく制度の周知啓発に努めます。</p>
<p>【学識経験者意見】</p> <p>「放課後子ども教室」、「ジュニア体験塾」とともに、地域と連携した学びの形成ができていると思います。協働活動サポーターの登録者が、130人になったことで幅広く活動ができるようになりました。登録者の皆さんが、活躍できる事業内容の構築をお願いいたします。</p>			

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価																		
<p>(1) 歴史・民俗資料の調査、収集、保存、展示等の充実 (決算額： 578 千円)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け、本館及び収蔵庫の入館者数は令和4年度よりも増加しました。また、1日平均人数も増加傾向にあります。</p> <table border="1" data-bbox="513 651 1010 1290"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>入館者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">令和4年度</td> <td>本館 1,771 人</td> </tr> <tr> <td>開館日数 273 日</td> </tr> <tr> <td>1日平均 6.5 人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">令和5年度</td> <td>収蔵庫 151 人</td> </tr> <tr> <td>開館日数 55 日</td> </tr> <tr> <td>1日平均 2.7 人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">令和5年度</td> <td>本館 1,891 人</td> </tr> <tr> <td>開館日数 276 日</td> </tr> <tr> <td>1日平均 6.8 人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">令和5年度</td> <td>収蔵庫 203 人</td> </tr> <tr> <td>開館日数 54 日</td> </tr> <tr> <td>1日平均 3.7 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>常時、歴史民俗資料の収集に努めており、現在の収蔵資料数（登録済）は、約15,500点（文書約10,000点、民具等約5,500点）となっています。</p> <p>本館における展示では、常設展示、企画展示（年3回）、ロビー展示（年4回）を開催しました。</p> <p>〔常設展示〕 「東温市の歴史」 特に変更なし</p> <p>〔企画展示〕 ① 「年代別昭和カタログ」 ② 「働く道具」 ③ 「住まう道具」</p> <p>〔ロビー展示〕</p>	年 度	入館者数	令和4年度	本館 1,771 人	開館日数 273 日	1日平均 6.5 人	令和5年度	収蔵庫 151 人	開館日数 55 日	1日平均 2.7 人	令和5年度	本館 1,891 人	開館日数 276 日	1日平均 6.8 人	令和5年度	収蔵庫 203 人	開館日数 54 日	1日平均 3.7 人	3	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止による団体利用者の制限を行いましたが、入館者数は令和3年度より増加しています。一方で収蔵庫の1日平均人数が減少傾向であることから、今後は積極的に施設のPR等を行い、団体等の利用促進と市民への周知を図る必要があります。</p> <p>今後も、来館者数の回復を見込み、地域に沿ったテーマによる企画展示を実施するほか、収蔵庫での講座数の拡大、デジタルアーカイブの利用促進等により、子どもから大人まで幅広い年齢層に愛される資料館づくりを目指します。</p>
年 度	入館者数																				
令和4年度	本館 1,771 人																				
	開館日数 273 日																				
	1日平均 6.5 人																				
令和5年度	収蔵庫 151 人																				
	開館日数 55 日																				
	1日平均 2.7 人																				
令和5年度	本館 1,891 人																				
	開館日数 276 日																				
	1日平均 6.8 人																				
令和5年度	収蔵庫 203 人																				
	開館日数 54 日																				
	1日平均 3.7 人																				

	<ul style="list-style-type: none"> ① 「春のお出かけ」 ② 「癒す道具」 ③ 「旅する道具」 ④ 「飾る道具」 		
(2) 文化財・埋蔵文化財の調査 (決算額： 1,168 千円)	市内にある周知の埋蔵文化財包蔵地において埋蔵文化財の試掘・確認調査を4件（民間3件、公共1件）、県教育委員会実施の試掘・確認調査の立会2件実施しました。	3	今後も周知の埋蔵文化財包蔵地での調査結果に伴う適切な見直しを継続しながら、ホームページ等で周知啓発に努め、遺跡内での無断開発防止に取り組んでいきます。
<p>【学識経験者意見】</p> <p>歴史資料館の入場者が増えたことは、企画展や資料の展示の工夫をされてきた成果だと思えます。引き続き、新しい企画の検討をお願いいたします。</p> <p>また、地域によっては、人口減少、高齢化により、受け継がれてきた儀式がなくなってきていると聞いたことがあります。無形文化財の調査や企画展示をしてみてもいいのではないでしょうか。</p>			

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価																								
<p>(1) スポーツ施設の利活用の促進 (決算額： 49,520 千円)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症は5類に移行し、利用者数（指定管理者分）は、178,366人と、対前年比で4,583人増加しました。</p> <p>〔体育施設（指定管理者分）〕</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ツインドーム重信</td> <td>50,864人</td> <td>61,814人</td> <td>68,411人</td> </tr> <tr> <td>総合公園</td> <td>25,413人</td> <td>35,732人</td> <td>34,732人</td> </tr> <tr> <td>農林業者トレーニングセンター</td> <td>34,668人</td> <td>43,599人</td> <td>42,044人</td> </tr> <tr> <td>川内体育センター</td> <td>23,890人</td> <td>32,638人</td> <td>32,979人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>134,835人</td> <td>173,783人</td> <td>178,366人</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度	令和4年度	令和5年度	ツインドーム重信	50,864人	61,814人	68,411人	総合公園	25,413人	35,732人	34,732人	農林業者トレーニングセンター	34,668人	43,599人	42,044人	川内体育センター	23,890人	32,638人	32,979人	合計	134,835人	173,783人	178,366人	3	<p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行し徐々に影響が減少し、令和3年度から4年度は大幅に増加。令和5年度もさらに増加しました。</p> <p>今後も引き続き、スポーツ施設の利活用促進を目指して取り組みます。</p>
	令和3年度	令和4年度	令和5年度																								
ツインドーム重信	50,864人	61,814人	68,411人																								
総合公園	25,413人	35,732人	34,732人																								
農林業者トレーニングセンター	34,668人	43,599人	42,044人																								
川内体育センター	23,890人	32,638人	32,979人																								
合計	134,835人	173,783人	178,366人																								
<p>(2) 愛媛プロスポーツ応援事業の推進 (決算額： 352 千円)</p>	<p>各団体と連携しながら、安全なスポーツ観戦、地元チーム応援の機運醸成を図りました。</p> <p>また、競技の楽しさや素晴らしさを子どもたちに伝えるため、愛媛オレンジバイキングスによる学校訪問を実施しました。</p> <p>〔愛媛FCホームゲーム・マッチシティ「東温市の日」〕</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来場者数</td> <td>2,066人</td> <td>11,128人</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔愛媛FCホームゲーム・マッチエリア「松山広域の日」〕</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来場者数</td> <td>2,979人</td> <td>4,012人</td> </tr> </tbody> </table>		令和4年度	令和5年度	来場者数	2,066人	11,128人		令和4年度	令和5年度	来場者数	2,979人	4,012人	3	<p>各団体と連携しながら、東温市のアピール及び特産物の販売を行いました。</p> <p>また、愛媛FCマッチシティではJ3優勝J2昇格をかけたFC今治との伊予決戦ということもあり、令和4年度より多くの観戦者がありました。</p> <p>今後もスポーツを通して選手と子どもたちの交流を深め、愛媛県のプロスポーツの振興と市民のスポーツ意識の向上を図ります。</p>												
	令和4年度	令和5年度																									
来場者数	2,066人	11,128人																									
	令和4年度	令和5年度																									
来場者数	2,979人	4,012人																									

	〔愛媛 MP・ホームゲーム 「中予広域の日」〕		
		令和4年度	令和5年度
	来場者数	864人	1,086人
	〔愛媛 OV・スクールキャラバン〕		
	・北吉井小学校児童：90人（5年生）		
	〔愛媛 OV・東温市の日〕		
	・観客動員数：2,862人		
	〔愛媛 MP・ホームゲーム 「中予広域の日」〕		
		令和3年度	令和4年度
	来場者数	746人	864人
〔愛媛 OV・学校訪問〕			
・西谷小学校児童：29人（全校）			
・上林小学校児童：24人（全校）			
・北吉井小学校児童：85人（6年生）			
〔愛媛 OV・東温市の日〕			
・観客動員数：903人 (令和4年度から)			

【学識経験者意見】

東温市スポーツ施設全体の利活用は伸びていますが、個々では、利活用が減少している施設があり、原因の追究が必要と感ずます。また、引き続き各施設の設備、備品の点検、補充をしていただきたいと思います。プロスポーツ選手との交流は、子どもたちのスポーツ感性に大きく影響します。これからもプロスポーツ選手との交流や試合観戦の場を広げていただきたいと思います。

教育委員会活動報告

1 教育委員会組織

委員等の就任状況

(令和6年3月31日現在)

役 職	氏 名	任 期
教育長	八 木 良	令和3年4月1日～令和6年3月31日
委 員 (教育長職務代理者)	本 田 隆 彦	令和3年11月26日～令和7年11月25日
委 員	大 西 正 志	令和2年11月26日～令和6年11月25日
委 員	大 野 誠 司	令和4年11月26日～令和8年11月25日
委 員	石 丸 知 美	令和5年11月26日～令和9年11月25日

2 教育委員会の会議等開催状況

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

区分	開催日	開催場所	協議事項
定例	4月25日(火) 9:00～10:30	東温市役所	(議案) ・ 東温市教育委員会職員の職名に関する規則の一部改正について ・ 令和5年度東温市学校運営協議会委員の任命について ・ 令和5年度東温市教育支援委員会委員の委嘱について ・ 令和5年度東温市教育相談員の委嘱について ・ 令和5年度東温市通級指導教室通級判定委員会委員の委嘱について ・ 令和5年度東温市特別支援連携協議会委員の委嘱について ・ 令和5年度東温市結核対策委員会委員の委嘱について ・ 東温市社会教育委員の委嘱について ・ 東温市スポーツ推進委員の委嘱について ・ 東温市公民館運営審議会委員の委嘱について ・ 東温市立図書館協議会委員の委嘱について ・ 東温市立図書館運営選書会委員の委嘱について ・ 東温市立歴史民俗資料館協議会委員の委嘱について

			<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度東温市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について (報告) ・東温市青少年補導センター関係例規の整備について ・教育委員会共催・後援事業について ・要保護及び準要保護児童生徒の認定について ・いじめ・不登校の状況について
定例	5月25日(木) 9:00~10:25	東温市役所	<ul style="list-style-type: none"> (議案) ・東温市学校・家庭・地域連携運営委員会要綱の一部改正について ・令和5年度東温市教科用図書採択委員会委員及び調査員の委嘱又は任命について ・東温市青少年補導委員の委嘱について ・東温市青少年問題等協議会委員の委嘱について ・東温市社会教育委員の委嘱について ・令和5年度東温市学校・家庭・地域連携運営委員会委員の委嘱又は任命について ・東温市公民館運営審議会委員の委嘱について ・令和5年度東温市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について (報告) ・教育委員会学校訪問の日程について ・教育委員先進地視察研修の実施について ・学校施設環境改善交付金事業に係る評価の実施について ・令和4年度教育委員会学校訪問の日程について ・教育委員会共催・後援事業について ・要保護及び準要保護児童生徒の認定について ・いじめ・不登校の状況について
定例	6月30日(金) 14:00~15:55	東温市役所	<ul style="list-style-type: none"> (議案) ・東温市部活動地域移行検討協議会設置要綱の制定について ・令和5年度東温市教科用図書採択委員会調査員の任命について (報告) ・東温市立幼稚園預かり保育事業実施要綱の一部改正について ・教科書採択に関わる宣誓書の提出について

			<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員先進地視察研修について ・学校施設環境改善交付金事業に係る評価の実施について ・教育委員会共催・後援事業について ・要保護及び準要保護児童生徒の認定について ・いじめ・不登校の状況について
定例	7月25日(火) 9:00~10:35	東温市役所	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東温市教育委員会会議傍聴規則の一部改正について ・東温市教育委員会事務決裁規程の一部改正について ・東温市部活動地域移行検討協議会設置要綱の制定について <p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東温市子育て短期支援事業実施要綱の制定について ・東温市学校給食費補助金交付要綱の制定について ・教育委員会共催・後援事業について ・要保護及び準要保護児童生徒の認定について ・いじめ・不登校の状況について
定例	8月22日(火) 9:00~11:50	東温市役所	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度使用小学校教科用図書採択について ・令和5年度(令和4年度対象)教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価について <p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「令和5年度全国学力・学習状況調査」東温市の調査結果について ・東温市保育士就職応援助成金交付要綱の制定について ・令和5年度東温市若年出産世帯応援事業助成金交付要綱の制定について ・教育委員会共催・後援事業について ・要保護及び準要保護児童生徒の認定について ・いじめ・不登校の状況について
定例	9月26日(火) 9:00~10:50	東温市役所	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度東温市学校給食等食物アレルギー対策検討委員会委員の委嘱について ・令和5年度東温市部活動地域移行検討協議会委員の委嘱について <p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東谷・西谷幼稚園の次年度の運営について ・教育委員会共催・後援事業について

			<ul style="list-style-type: none"> ・ 要保護及び準要保護児童生徒の認定について ・ いじめ・不登校の状況について
定例	10月24日(火) 9:00~10:25	東温市役所	<ul style="list-style-type: none"> (議案) ・ 東温市立幼稚園規則の一部改正について (報告) ・ 東温市子育て世帯訪問支援事業実施要綱の制定について ・ 教育委員会共催・後援事業について ・ 要保護及び準要保護児童生徒の認定について ・ いじめ・不登校の状況について
定例	11月28日(火) 9:00~10:20	東温市役所	<ul style="list-style-type: none"> (議案) ・ 東温市教育委員会後援等取扱要綱の一部改正について (報告) ・ 東温市修学旅行の中止に伴うキャンセル料等補助金交付要綱の一部改正について ・ 令和5年度児童館運営委員会の報告について ・ 教育委員会共催・後援事業について ・ 要保護及び準要保護児童生徒の認定について ・ いじめ・不登校の状況について
定例	12月26日(火) 9:00~11:05	東温市役所	<ul style="list-style-type: none"> (議案) ・ 東温市立学校職員安全衛生管理規則の制定について (報告) ・ 部活動地域移行推進に関する進捗報告について ・ 東温市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について ・ 令和6年度市立保育所・幼稚園・認定こども園申込受付状況について ・ 教育委員会共催・後援事業について ・ 要保護及び準要保護児童生徒の認定について ・ いじめ・不登校の状況について
定例	1月23日(火) 9:00~10:20	東温市役所	<ul style="list-style-type: none"> (報告) ・ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果 ・ 行事予定 ・ 教育委員会共催・後援事業について ・ 要保護及び準要保護児童生徒の認定について ・ いじめ・不登校の状況について

定例	2月29日(木) 9:00~11:10	東温市役所	(報告) <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度保育所・幼稚園・認定こども園の運営について ・ 令和6年度東温市教育基本方針における重点施策について ・ 東温市学校等の在り方検討委員会の設置について ・ 部活動地域移行について ・ 教育委員会共催・後援事業について ・ 要保護及び準要保護児童生徒の認定について ・ いじめ・不登校の状況について
臨時	3月11日(月) 13:55~14:40	東温市役所	(議案) <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度末教職員人事異動案件について ・ 充て指導主事の任用に係る同意及び専門的教職員の派遣に関する協定の締結について
定例	3月28日(木) 10:35~12:50	東温市役所	(議案) <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度東温市教育基本方針及び重点施策の策定について ・ 東温市学校等の在り方検討委員会規則の制定について ・ 東温市立学校管理規則の一部改正について ・ 東温市立学校管理規則に関する事務取扱要領の廃止について ・ 東温市学校運営協議会規則の一部改正について ・ 東温市学校運営協議会運営要綱の廃止について ・ 東温市学校事務の共同実施組織及び運営に関する規則の一部改正について ・ 東温市特別支援教育就学奨励費支給要綱の制定について ・ 東温市立幼稚園規則の一部改正について ・ 東温市立認定こども園条例施行規則の一部改正について ・ 東温市史編纂委員会規程の一部改正について ・ 令和6年度東温市教育委員会職員の人事異動について ・ 令和6年度東温市特別支援教育アドバイザーの委嘱について ・ 令和6年度東温市特別支援巡回相談員の委嘱について ・ 令和6年度学校医・学校歯科医・学校薬剤師・産業医の委嘱について

			<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度東温市スクールガードリーダーの委嘱について ・ 東温市社会教育委員の委嘱について ・ 東温市地域学校協働活動推進員の委嘱について ・ 東温市公民館運営審議会委員の委嘱について ・ 東温市文化財保護審議会委員の委嘱について ・ 学校給食に係る保護者から徴収する金額について(報告) ・ 令和6年度教育委員会の主な事業について ・ 令和5年度通学路安全対策対応状況について ・ 教育委員会共催・後援事業について ・ 要保護及び準要保護児童生徒の認定について ・ いじめ・不登校の状況について
--	--	--	--

3 その他の活動

1. 研究会等

- 学校評価報告会

2. 学校等行事への出席

- 小・中学校入学式
- 小・中学校卒業式
- 教職員着任式、離任式
- 小・中学校健全育成協議会

3. 社会教育行事への出席

- 人権講座
- 人権ゼミナール

4. 学校給食センター行事への出席

- ふれあいスクールランチコンテスト'23 IN 東温

5. 学校等視察訪問

- 中予教育事務所・東温市教育委員会合同学校訪

